福臨技筑豊地区　～ 2026 年度新人研修会 開催報告～

開催形式：　現地・Web ハイブリッド開催　　対象：新入会・転入技師および地区会員

1. 研修会開催概要および参加実績

福岡県臨床検査技師会筑豊地区へ新入会・転入された技師を対象に「2026 年度新人研修会」を開催いたしました。今年度は現地会場と Web 配信のハイブリッド形式で実施し、合計 30 名のご参加をいただきました。

研修会では大久保会長の挨拶に始まり、浦園地区長より筑豊地区技師会の理念（ミッション・ビジョン・バリュー）や地区活動の紹介と青年部の紹介をいただきました。その後、各役員の紹介・挨拶を行いました。新人研修として八尋技師より日々の業務に直結する「時間外業務に入る新人技師のための輸血検査の基礎」に関する実践的な講義が行われ、施設の垣根を越えた知識共有と親睦を深める大変有意義な機会となりました。ご多忙の折ご参加いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。（現地：17 名　Web：13 名（受講レポート提出完了）

2. 研修プログラムと講義内容

【プログラム構成】

1. 開会挨拶（吉冨学術部長）
2. 会長挨拶（大久保会長）
3. 筑豊地区活動報告（浦園地区長）
   - ミッション・ビジョン・バリューの共有
   - 地区活動紹介
   - 青年部紹介
3. 役員紹介・挨拶
4. 新人研修講義
   （八尋技師）
   『時間外業務に入る新人技師のための輸血検査の基礎』
5. 閉会挨拶（中村副地区長）



【研修会の主なポイント】

福臨技筑豊地区の理念共有: ミッション・ビジョン・バリューの提示、筑豊地区の活動紹介と青年部による若手育成やバックアップ体制について紹介。

輸血検査の基本と判定精度: ABO・RhD 血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験の基礎を学習。弱陽性や mf 等の判定のポイントを確認。

寒冷凝集素症への対応: CBC で MCHC が異常高値を示す特徴、検体管壁のザラつき・凝集・吸入抵抗感の観察、検査・輸血時の加温処理手順を習得。

連銭形成の鑑別: 血漿蛋白の増加による連銭形成の特徴と、検査数値から原因を推測する考え方を整理。

緊急輸血と臨床連携: Rh(D-)患者へ緊急輸血を行う際、製剤選択ルール（Rh(D+)使用は一度のみ）や、主治医との連携・優先順位付けを学習。

3. 受講者の感想（抜粋）

【 現場の疑問解決】
「 先日自己対照陽性で判断に困った症例がありましたが、今回の講義で自分の対応が正しかったと確認できてスッキリしました。専門技師がいない時間帯でも活かせる内容でした。」

【 技師会活動・横のつながり 】
「 青年部による若手育成体制や学会発表へのサポートが手厚いと感じました。他施設の技師さんとの横のつながりを大切にし、今後も積極的に勉強会に参加したいです。」



研修会講師：
八尋さん（右）
輸血部門長：
大島さん（左）